

[成果情報名]イチゴ「ゆめのか」の親株冷蔵による採苗作業促進方法

[要約]イチゴ「ゆめのか」の親株を10月1日から5℃以下で30日以上冷蔵処理を行うと、鉢受け作業の前進化が可能となる。5℃以下で45日以上冷蔵処理を行うと更に前進化が可能となる。

[キーワード]イチゴ、ゆめのか、育苗、親株冷蔵処理

[担当]長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・野菜研究室

[連絡先](代表) 0957-26-3330

[区分]野菜

[分類]指導

[作成年度]2015年度

[背景・ねらい]

長崎県におけるイチゴの品種は、「さちのか」から多収性の「ゆめのか」への転換が進んでいる。「ゆめのか」は、親株からのランナー発生時期がやや遅い傾向にあり、切り離し時期が梅雨期にかかることから、炭そ病の発生を助長することが懸念される。ランナー発生促進法としては、ジベレリンの茎葉散布による方法を報告したが(2013年)、品種「とよのか」においては親株の冷蔵処理が有効であるとの報告がある。

そこで、「ゆめのか」における親株の冷蔵処理の採苗作業促進効果について明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. ランナーの発生は、45日および60日冷蔵処理することで早くなる。鉢受け開始期頃までに発生するランナー数は、処理の有無による一定の傾向は見られない(表1、2)。
2. 鉢受け開始時の鉢受け株数は、45日および60日冷蔵処理することで多くなる。同一冷蔵処理期間内における鉢受け終了時の鉢受け株数は、冷蔵処理を行うことで無処理に比べ多くなる。5℃または2℃で45日以上の冷蔵処理を行うと、30日冷蔵処理よりも鉢受け株数が多く得られ、その数は同等程度である(表1、2)。

[成果の活用面・留意点]

1. 育苗は、雨よけ高設育苗施設で行った。
2. 冷蔵処理は、コンテナにポットを詰めて行った。冷蔵中はコンテナをビニール等で被覆し、鉢土の乾燥を防止する。無被覆状態で30日以上冷蔵処理を行うと、鉢土が乾燥し、苗が枯死する場合がある。冷蔵温度が低いほど乾燥しやすい。無被覆状態で30日以上冷蔵処理する場合は、処理期間中に灌水を行う必要がある。

[具体的データ]

試験区の構成(2013年, 2014年共通)

処理	処理内容
5℃	親株用ポリポット苗をコンテナに詰め、2013年および2014年10月1日から5℃の冷蔵庫で30日、45日、60日冷蔵処理し、日陰で馴化した後、雨よけ高設育苗ハウス内に各定植日に定植
2℃	親株用ポリポット苗をコンテナに詰め、2013年および2014年10月1日から2℃の冷蔵庫で30日、45日、60日冷蔵処理し、日陰で馴化した後、雨よけ高設育苗ハウス内に各定植日に定植
無処理	親株用ポリポット苗を、雨よけ高設育苗ハウス内に各定植日に定植

表1 「ゆめのか」における親株冷蔵処理とランナー発生本数および鉢受け数(2013年)

処理	冷蔵処理期間	親株定植日	ランナー発生本数 (本/株)			鉢受け株数 (株/親株1株)		
			3月29日	4月 9日	4月29日	5月 1日	5月19日	5月27日
5℃	30日	11月 1日	0.3	2.7	9.0	4.0	15.2	20.3
2℃			0.3	2.5	9.3	3.8	14.0	19.2
無処理			0.5	2.5	5.8	2.3	9.2	14.2
5℃	45日	11月15日	3.7	4.8	6.7	7.7	18.5	25.8
2℃			3.0	4.4	6.8	8.0	18.6	25.4
無処理			0.7	3.7	8.2	4.8	13.0	18.5
5℃	60日	11月30日	3.0	4.3	8.2	9.0	21.0	25.5
2℃			2.2	3.5	5.3	6.3	16.7	24.5
無処理			0.5	2.8	7.3	3.8	12.7	17.7

表2 「ゆめのか」における親株冷蔵処理とランナー発生本数および鉢受け数(2014年)

処理	冷蔵処理期間	親株定植日	ランナー発生本数 (本/株)			鉢受け株数 (株/親株1株)		
			3月26日	4月 5日	5月 5日	5月 5日	5月15日	5月25日 ^{※1}
5℃	30日	11月 1日	0.0	1.7	6.5	2.7	7.8	18.7
2℃			0.2	2.0	8.0	3.0	9.5	22.3
無処理			0.0	1.8	4.8	3.2	7.2	17.0
5℃	45日	11月15日	2.8	4.7	7.2	7.3	14.0	30.8
2℃			2.3	3.2	7.0	7.0	14.0	28.7
無処理			0.0	2.5	6.2	3.3	10.0	23.7
5℃	60日	11月30日	2.3	3.3	7.2	7.2	15.2	29.2
2℃			2.0	3.3	6.8	6.5	13.3	28.0
無処理			0.0	2.5	7.8	3.2	9.2	22.8

※1 5月25日の鉢受け株数は、鉢受け可能(発根苗)な非鉢受け苗数を含む

[その他]

研究課題名：イチゴ次期有望品種「ゆめのか」の安定生産技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2013～2015年度

研究担当者：野田和也